

くにみ 議会だより

No.189
6月議会号



ぼくの願い事かなうかな★

くにみ幼稚園の七夕会が、7月6日から8日にかけて行われました。
短冊に書いたみんなの願い事がかないますように！

6月定例会

広報常任委員が新しくなりました — P2

国民健康保険税などを審議（条例改正） — P3

廃棄物処理事業費などを可決（令和3年度補正予算） — P4

一般質問（凍霜害についてなど8人が登壇） — P7

凍霜害現地調査 — P18

広報常任委員のメンバーが新しくなりました



6月定例会は、6月22日から6月25日までの4日間の会期で開かれ、広報常任委員が任期満了となることから委員の選任が行われ、議会の構成が一部変更となりました。

また、国民健康保険税条例の改正や凍霜害支援事業などを増額する補正予算など25議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。一般質問では、8人の議員が登壇し町政をただしました。

任期満了により 6人の委員を選任

広報常任委員の任期は条例で2年と定められています。6月22日付で任期満了となることから、定例会初日の22日に新たな委員の選任及び、委員長、副委員長の互選が行われました。新委員は次の6人です。

広報常任委員会	
委員長	渡辺 勝弘
副委員長	蒲倉 孝
委員	八島 博正
委員	小林 聖治
委員	山崎 健吉
委員	八巻喜治郎

地方自治の振興発展に尽力

福島県町村議会議長会自治功労者賞

6月3日、福島県町村議会議長会定期総会で、当町議会の東海林一樹議長が、町村議会議長として6年以上在職した自治功労者として表彰されました。



東海林議長には、6月議会定例会の席上で表彰状が伝達されました。

人事

教育長に菊地弘美氏を再任

前教育長の残任期間の満了により、引き続き、国見町教育委員会教育長に、菊

地弘美氏を任命することに同意しました。

監査委員の任期満了により、佐藤徳正氏を選任することに同意しました。

条例改正

国保税3年ぶりの増額

国民健康保険税条例

(要旨) 被保険者数の減少、小規模町村での財政運営リスクの軽減を図るほか、保

	医療分		支援金分		介護分	
	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度
所得割	5.72%	6.24%	2.59%	2.61%	2.24%	3.35%
均等割	19,300円	24,000円	8,700円	9,400円	9,800円	15,400円
平等割	14,000円	20,800円	6,300円	6,700円	4,400円	7,700円
課税限度額	63万円		19万円		17万円	

※課税限度額は昨年度より変更なし。

険料算定を分かりやすくするため、福島県では令和11年から統一保険料を導入する方針を示しました。

将来の県の統一保険料に備えるため、町では保険税率を段階的に調整していくこととなります。

このため、令和3年度の国保税は、国保財政調整基金から約300万円を取り崩して、医療分を平成30年度分と同じ税額とし、上昇を抑制したほか、支援金分、介護分は、県の標準保険料と同額としました。

(賛成多数で可決)

質疑

問

(浅野富男議員)

条例改正により、国保財政調整基金より300万円投入しているが、一

般会計からの繰り入れは考えていないのか。

ほけん

国見町国民健康保険特別会計

は、独立して運営している。このため、一般会計から法定外の繰り入れは困難であると考えます。

討論

反対討論

(浅野富男議員)

各自治体によって所得や医療環境など条件は様々である。これを一つに保険料を算定すれば金額は当然高くなるものが考えられる。コロナ禍で家計が苦しい中、保険料の負担が増えることは容認できない。

賛成討論

(佐藤定男議員)

高齢化が進み、医療費の増大が見込まれる。国民健康保険制度を維持するため、増額はやむを得ないと考える。

議案審議結果

※下記以外の議案は全員賛成で可決されています。

議案等	議員名	議決結果	蒲倉 孝	八巻 喜治郎	宍戸 武志	山崎 健吉	小林 聖治	村上 一	佐藤 定男	渡辺 勝弘	松浦 常雄	浅野 富男	八島 博正
議案第50号 国見町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第56号 国見町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

○：賛成 ●：反対 □：討論者

※議長(東海林一樹)は採決に加わらない。

地震の廃棄物処理事業費や 凍霜害支援事業費などを可決

令和3年度一般会計補正予算(第2号)は、5億8521万円を増額し、予算総額を60億1077万円とすることを、全員賛成で可決しました。

主な歳出は、福島県沖地震の災害等廃棄物処理事業費(公費解体)に3億9417万円や、凍霜害支援事業費に6830万円、文教施設災害復旧工事費に3535万円などです。

これらの財源の主なものは、国、県の補助金や基金及び地方債です。

質疑

子育て世帯への給付金の内容は

問 (佐藤定男議員)
子育て世帯への臨時特別給付金として500万円増額の内容を伺う。

福祉課長 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、国の制度として低所得の子育て世帯に対し給付するものである。既に給付を行っているひとり親世帯を除く、18歳未満の児童を養育する父母等で、令和3年度に住民税が非課税または収入の急変により非課税相当となった世帯へ、児童一人5万円を支給する。

改修やエアコンの設置を行う集会所はどこか

問 (村上一議員)
集会所改修補助金を交付する集会所はどこか。

住民防災課長 町内会より改修の要望があった、森江野地区の第1、第2、第4集会所に交付する予定である。

問 (村上一議員)
集会所エアコン設置補助金についても伺う。

福祉課長 新型コロナウイルス感染症対応地方創

令和3年度一般会計補正予算(第2号)のおもな内容

【主な事業】

・災害等廃棄物処理事業(被害家屋の公費解体)	3億9417万円
・新型コロナワクチン接種事業	1221万円
・凍霜害支援事業	6830万円
・新型コロナ対策中小企業等緊急支援事業	1000万円
・子育て世帯への臨時特別交付金	500万円
・文教施設災害復旧工事	3458万円
・その他	6095万円
計	5億8521万円

【主な財源】

・国県補助金	2億9606万円
・特別交付税	1億5767万円
・町債	4100万円
・その他(基金等)	9048万円
計	5億8521万円

地域プロモーション事業の内容は

問 (松浦常雄議員)
地域プロモーション事業924万円増額の内容を伺う。

企画調整課長 県補助金を活用するもので、遊休不動産や空き家の活用、リノベーションを検討しており、移住・定住の促進を図る。



養蚕住宅として価値が認められる松田家住宅

松田家住宅の 今後の管理費は

問

(浅野富男議員)

松田家住宅の国登録有形文化財の申請費用は

町で負担するとのことだが、登録されてからの維持管理費はどうなるのか。

課 企画調整

個人の所有であるため、今までどおり維持管理は個人が負担する。ただし、災害等で被害があった場合には、150万円を上限に修繕等の補助を行う。

凍霜害支援補助額の算定方法は

問

(渡辺勝弘議員)

凍霜害支援補助金として6830万円を計上しているが、その算定方法について伺う。

課 産業振興

伊達農業普及所及び農協と相談し、被害面積を推計して算出した。その結果、被害面積が137.3ha、被害金額が3億3431万円と算定された。その算定を根拠に出した金額で、県と町の補助金の総額である。

問

(渡辺勝弘議員)

桃、柿、サクランボ、あんずの4品目の被害支援をするとのことだが、リンゴはどうなるか。

課 産業振興

リンゴの被害は、特に大木戸地区で多発していることを現地で確認済のため、リンゴに対する支援も国に要請していく。

公費解体工事は 何棟か

問

(八島博正議員)

公費解体の対象物件は何棟か。

課 住民防災

半壊以上が対象で、現時点では、住家が31棟、非住家が73棟となっている。現在も申請を受付中である。

イベント業務の 内容は

問

(佐藤定男議員)

社会教育費のイベント業務で110万円増額の内容を伺う。

課 生涯学習

コロナ禍の影響により、1月に実施できなかった成人式の代替事業として、「成人の集い」を開催するもので

ある。お盆時期を予定しており、思い出の場所に撮影スポットなどを用意することを検討している。

文教施設災害 復旧工事の内容は

問

(八島博正議員)

文教施設災害復旧工事の内容を伺う。

課 生涯学習

観月台文化センターホールの舞台装置の復旧工事で1147万円、上野台体育館の外壁改修工事で2311万円を計上している。

(全員賛成で可決)

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

令和3年度の本算定に伴い、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8217万円を追加し、歳入歳出の予算を総額11億3269万円とする。

(賛成多数で可決)

介護保険特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ556万円を追加し、歳入歳出の予算を総額14億7886万円とする。

今年度から始まった第8期介護保険事業計画に合わせた保険料収納見込額を変更する。

(全員賛成で可決)

町長の行政報告（抜粋）

●福島県沖地震

・住家において全壊1棟、大規模半壊3棟、中規模半壊6棟、半壊21棟であった。非住家においては半壊以上が64棟であった。半壊以上の住家被害があった31件33世帯に町罹災救助給付金交付要綱に基づく見舞金を交付した。

●凍霜害対策

・4月の降霜により、町内では、桃、柿、サクランボ、あんずなどの作物で大きな被害が発生した。被害面積は137.3ha、被害金額は3億3400万円と見込まれる。農家の営農意欲を途切れさせない方策として、国・県の補助事業と併せた町独自の支援策を策定した。

■健やかに暮らせるまちづくり

●すくすくももさぼ祝金

・子育て支援事業の一つで、若い夫婦の出産時の経済的負担の軽減を図ることを目的としている。子ども1人の出産につき10万円で、これまで、男児2名、女児3名に交付した。

■安全・安心な優しいまちづくり

●国道4号と町道116号交差点に横断歩道と信号機の設置

・町が長年要望していた横断歩道と信号機が設置され、3月末に運用を開始した。

■未来につながるまちづくり

●国見町公営塾「放課後塾ハル」

・地域おこし協力隊を講師として迎え、6月7日に中学3年生を対象に開校した。現在26名が受講している。

●あつかし千年公園

・5月末に工事が完了。6月20日にプレオープンし、7月10日にはオープンイベントを開催する。

■恵まれた資源を活かしたまちづくり

●道の駅国見あつかしの郷の指定管理者

・今年度で町の指定管理期間が満了することから、第三者による評価・選定委員会を設置し、次期指定管理者の選定に向けた検討を進める。

みなさんからの 陳情

6月定例会では陳情2件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
コロナ禍を克服し、国民のいのちと健康を守るための陳情書	福島県医療労働組合連合会 執行委員長 高橋勝行	採択
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	採択

※議長は採決に参加しない。

委員会での陳情の採択を受け、慎重審議を行い、意見書をまとめました。議会で諮り可決されたため、意見書を提出しました。

意見書

6月定例会では意見書2件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

コロナ禍を克服し、国民のいのちと健康を守るための意見書

新型コロナウイルス感染症対策を強化し、国民のいのちと健康、暮らしを守るためにも、医療・介護・福祉そして保健所の増設等の公衆衛生行政の充実を図るとともに、その対応のため令和4年度において十分な予算確保を国へ要望するもの。

可決
(全員賛成)

地方財政の充実・強化を求める意見書

地方自治体は、社会保障など果たす役割が拡大する中で、新型コロナウイルス感染症対策や大規模災害など緊急を要する課題に直面しており、令和4年度の政府予算、地方財政の検討にあたり、歳入・歳出を的確に見積り、地方財政の確立を目指すために必要な対応を求めるもの。

可決
(全員賛成)

～8人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般
質問

6月定例会

議員	質問事項	ページ
松浦 常雄	凍霜害を受けた農家への支援は	8
佐藤 定男	ヤングケアラーの実態調査は考えているか	9
山崎 健吉	当町の福祉避難所はどこに指定しているのか	10
渡辺 勝弘	藤田駅前周辺をどう活性化するのか	11
	町職員の異動による事業継続性は大丈夫か	
宍戸 武志	町のICT教育の取り組みは	12
	デジタル社会への対応は	
八巻喜治郎	若者世代の移住・定住の施策は	13
小林 聖治	今後の町のワクチン接種は	14
	遊歩道の土地取得は	
浅野 富男	認定こども園は、現行の保育設置基準と比べてどうか	15
	凍霜害への支援は	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

Q 凍霜害を受けた農家への支援は

A 県・町単独で補助事業を実施する



松浦常雄議員

円、あんずが34万円、合計で3億3431万円の被害額になるものと推定している。

問 防霜対策は具体的にどのような活動を行ったのか。

産業振興課長 福島気象台から午前

産業振興課長 町全体として、例年の収穫量に対して20%から25%の減収を見込んでいます。

問 品目毎の被害額と合計被害額は。

産業振興課長 桃が2億8046万

円、柿が5173万円、サクランボが178万

問 県は、今春4月に起きた4回の凍霜被害額は、5月20日の段階で、27億6723万円に上ったと発表した。これは、1980年（昭和55年）統計開始以来2番目、平成以降で最悪の被害と報じられた。例年の収穫量に比して被害の割合は。

今後防霜ファンの設置範囲を広げることばできないか。

産業振興課長 防霜ファンを設置する際には、国と県からの補助金が交付されるが、設置導入時に自己資金が発生すること、設置後も電気料と修繕費用などのランニングコストが発生することなどの課題もある。

しかし、その有効性は今回の凍霜害で実証されたことから、町としても国・県と連携を図りながら、可能な限り個人設置ではなくより効果の高い団地化、いわゆる点ではなく面的に防霜ファン設置範囲の拡大を推進していきたい。

問 凍霜被害を受けた農家の営農意欲を減退させないために、また、桃を中心とした果樹産地を今後

も維持していくためにどのような支援を行っていくのか。

町長 作る喜び、売る楽しみ、食べ

てもらう幸せを改めて生産者が感じられるよう、町として積極的な支援策を打ち出し、本定例会に凍霜害支援事業費6830万円の補正予算を計上した。

具体的には、一つ目、県の補助事業として、被害割合が30%以上の園地で行うせん除経費に10アール当たり3万6000円の補助、二つ目、掛かり増し経費としての防除費用や次年度に対する燃焼資材購入の10%補助、三つ目、さらに町単独

事業として、すべての農家を対象にスピードスプレヤーの機械導入補助、四つ目、せん孔細菌病防除費用の増額補助、五つ目、収入保険の保険料増額補助、六つ目、青色申告に向けた支援補助、これら6事業を展開することで農家の営農継続支援を進める。

農家との直接対話などを実施し、支援策を検討する。



効果が認められた防霜ファン



佐藤定男議員

問 国は、全国の教育現場に対する初の実態調査(抽出)を発表している。調査結果によると、

公立中学2年生の5.7% (約17人に1人)、公立の全日制高校2年生の4.1% (約24人に1人)が「世話をしている家族がいる」と回答し、1学級につき1〜2人のヤングケアラーがいる可能性があることが分かった。今後実施される予定の国見町の実態調査を踏まえ、どのように対応していくのか現時点での考えを伺う。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

※厚生労働省ホームページ参照

問 ヤングケアラーとは、慢性的な病気や障害、精神的問題などがある家族の介護や世話をする子どもを指す。法令上の定義はないが、日本ケアラー連盟は「大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情

面のサポートなどをする18歳未満」と位置付けている。今、ヤングケアラーは社会問題となっている。日本の現状について町長はどのような認識を持っているか。

町長 子どもが家庭で一定の役割を担うことは、家庭教育

のうえで必要だと思いが、その限度を超え学校生活や学習に支障が出たり、進学や就職を諦めたりしなければならぬような状況であれば、子どもの将来にとって大きな問題と考

えている。ヤングケアラーといわれるような子どもが国見町にいるのか、否か、年度当初に教育長に実態調査を指示している。

町長 子どもが家庭で一定の役割を担うことは、家庭教育

のうえで必要だと思いが、その限度を超え学校生活や学習に支障が出たり、進学や就職を諦めたりしなければならぬような状況であれば、子どもの将来にとって大きな問題と考

えている。ヤングケアラーといわれるような子どもが国見町にいるのか、否か、年度当初に教育長に実態調査を指示している。

そこには難しさもあると考えている。介護や家事を担う子どもがいるから、その家族の間のバランスがとれているとも言える。つまり、家族間のケアに対するバランスの調整が必要になってくる。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

また、支援が必要なことを子どもや保護者が認識していないというところで、支援機関の人が家庭の事情に関わることへの抵抗感が強く、簡単には支援につながらないケースもある。

※厚生労働省ホームページ参照

ヤングケアラーはこんな子どもたち

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども。

障害や病気のある家族に代わり家事をしている

障害や病気の家族などの身の回りのお世話をしている

※厚生労働省ホームページ参照

Q 当町の福祉避難所はどのくらい指定しているのか

A 「国見の里」と位置づけている



山崎健吉議員

予想される時に、自主的に避難される方を対象に避難所を開設しているものである。

問

最近の報道でも福祉避難所が取り上げられている。当町の福祉避難所の指定場所と、町の対応について伺う。

住民防災課長

当町の福祉避難所は国見の里などを位置づけている。福祉避難所への移送等については町が直接行うべきと考えている。

問

各町内会に自主防災会が組織されている。当町6町

内会の内33町内会が藤田地区である。避難訓練は観月台文化センターのみである。訓練は基本的に徒歩での移動でありサブとして国見小学校・上野台体育館の開設もしているか。

住民防災課長

各地区の訓練では自主防災会の実行委員会が発案し、実態に即した避難方法を進めて頂きたい。その上で町が協力機関との調整等を行っていく。

問

現在の防災マップでは避難所が19か所ある。予め、各施設の収容数を公示し、いざと言う時に施設の利用状況を防災行政無線等でお知らせすれば混乱なく避難で

住民防災課長

現在コロナ禍で密にならない避難所の計画を作っている。今後自主防災会にもお知らせできるように準備をして行く。

問

いつ発生するか分からない災害に対応するために町ではどのように職員教育と訓練が行われているか伺う。

町長

町の地域防災計画では、震災・一般災害等に分けて警戒本部の設置や配備基準等を定めて、災害に

対応している。今後も町としては総合防災訓練と併せ、職員の情報伝達・招集・避難所の設置等の訓練を引き続き実施していく。また、応援体制についても関係機関との連携を密にし機動的な支援体制を構築するため、防災訓練を定期的に進めていく。

※福祉避難所とは、高齢者や障害者など、一般の避難所生活では支障をきたす方に対して、特別な配慮がなされた避難所のこと。



小坂地区にある案内板

問

今年4月のガイドライン改正で避難勧告が廃止され、避難指示に統一された。

東日本大震災以降、避難勧告、避難指示をどの程度出したか。

住民防災課長

避難指示、避難勧告、避難指示いずれも、令和元年台風19号での発令の一度ずつである。

問

避難勧告、避難指示の発令は一度ずつのことだが、調べでは自主避難については、これまで大雨などで12回避難所を開設している。その経緯は。

住民防災課長

これから災害発生が

Q 藤田駅前周辺をどう活性化 するのか

A 民間の力が相乗効果を生み、 町全体が活性化されるとよい

問 町道116号が完成し藤田駅も改築となり、駅前周辺の街路灯も明るくなったが、非常に寂しい感じに思われてしまうがこの状況をどう考えているのか。

いは、「のどかな風景」と思うかは、主観的な感覚である。

問 エリアデザイン
ンラボという実践的な町づくり事業で、駅前をエコタウンとして活用する検討をしていくとのことだが、町としてどのような

建設課長 駅前の状況については、「寂しい」と感じるかある

民間事業者が検討している事業で、町は関係していない。

建設課長 駅前という公共性の高い場所であることから、インフラ整備が必要であれば、対応していく。

問 町として民間活力などを活用しながら、将来的にJR藤田駅前周辺をどのように活性化させていくのか。

企画調整課長 民間事業者に対しては、様々な支援を行い、賑わいを創出していき

たい。民間の力が相乗効果を生み、その結果として、JR藤田駅前周辺だけではなく町全体が活性化されるとよいと考える。

町職員の異動による事業継続性は 大丈夫か

問 町政を執行する
員の能力を最大に發揮する事が必要だと考えるが、異動させる上で
の根拠があるのか。

総務課長 明確な根拠はない。ただ、専門職以外の一般行政職員については、おおむね3年を目途に違う業務を経験してもらうように配慮している。

問 人事異動する
上で、職員からの希望及び技量にあっているのかを確認する
上で管理職員からの情

総務課長 町民に近い末端自治体である町職員はある程度総合

報をもとに考えているのか。

的な知識が必要である。

総務課長 毎年2回程副町長を交えてヒヤリングを実施している。職員の状況などについて対話を通じて情報共有を行い、次年度の人事異動に生かしている。

逆に、長期在職となれば、マンネリ、そういった事も防止しなければならぬ。前任者に尋ねることや、事前に十分な引き継ぎもなされておらず問題ないかと考える。

問 地域公共交通
支援事業として、MaaS事業の実証実験が実施されている。4月より、住民防災課に事業が移ったが前任者が一人もいない。事業継続性は大丈夫か。

問 人事異動する
上で、職員からの希望及び技量にあっているのかを確認する
上で管理職員からの情

総務課長 町民に近い末端自治体である町職員はある程度総合



現在のJR藤田駅前のようす



渡辺勝弘議員

Q 町のICT教育の取り組みは

A タブレットを活用した授業で自ら学ぶ力の育成に繋げる



六戸武志議員

み支援を行っている。

問 ICT教育に限らず、自宅学習が重要になってくる

が各家庭のネット環境の整備が必要である。家庭の事情で未整備の世帯に対して補助する考えはあるか。

次長 ネット環境の整備率は中学校家庭で95%・小学校家庭で90%となっている。尚、GIGAスクールは自宅学習も目的としており、自宅へのタブレット端末の持ち帰りも可能としている。

ネット環境未整備世帯には、モバイルルーターの貸し出しも準備している。

デジタル社会への対応は

問 官民挙げてデジタル社会の構築を目指している。今後、各自治体にもデジタル化が一層加速されることになるが、役割を始め全町的なデジタル化への対応は。

企画調整課長 行政のデジタル化の推進は町民サービスの向上になる。今後、国の動向を注視しながら、町民福祉の向上と利便性を念頭に対応する。

でいくのか。

企画調整課長 は、本町でデジタル化の活用を必要としている方には丁寧な周知と適正な説明を提供できるよう取り組んでいく。デジタル化に馴染まない方には、従来のマンパワーによって対応していく。

問

ICT教育が本格始動する。誰一人取り残さない、公正で最適化された学びが実施され、都市と地方の「教育環境格差」解消等が期待される。GIGAスクール元年、本町での取り組みについてはどうか。

教育長

ICT教育は、なぜ

を繰り返す深掘りの学習が主であり、思考や考え方を学ぶ。探求心、発想力等を身につけて、解決する力に繋げる。工夫とアイデアでタブレットを活用した授業により、児童・生徒に学ぶ面白さ、わくわくを感じさせる。そのことが学び続けるモチベーションとなり、自

問

ICT教育には指導者の人材確保が重要と考えるが、どうなっているか。

次長

現在、ICT支援員を、小・中学校にそれぞれ配置している。情報機器の活用、デジタル教材を利用した授業の取り組み

問

町民も否応なしにデジタル化への対応が迫られてくる。具体的にどう取り組ん



タブレット端末を使った授業のようす

Q 若者世代の移住・定住の施策は

A 促進委員会を立ち上げ、実効性のある施策を実施する

度は、福島県と連携したふくしま移住支援金給付事業がある。町独自の施策は、空き家ゲートウェイと連携して町内の空き家情報の発信をしている。

はあるか。

町長 現在、人材育成について策定中の在り方も検討して、積極的な対応を図ってまいりたい。

問 現在の人口減少をどう捉えているのか。

課企画調整長 本年度を初年度とする

第6次国見町総合計画を策定した。人口減少を含め、新しいまちづくりを進めるため、今後10年間取り組んでいく。

問 人口の維持、減少に歯止めをかける企業誘致等の施策は、どのように行ってきたのか。

課企画調整長 小坂地区や山崎地区

の工業団地を造成・分譲し企業誘致を行ってきた。小坂地区に10社、山崎地区に10社、計20社が操業している。現

時点で、工業用地については空きのない状態である。

問 近隣の市町では、企業誘致のトップセールスも行うとしているが、本町では考えがあるのか。

課企画調整長 事業者からの相談や

県からの斡旋があった場合に、町では具体的に個別対応している。

問 本町へ移住・定住を考えている方に対して、土地と空き家等の活用があるのか。

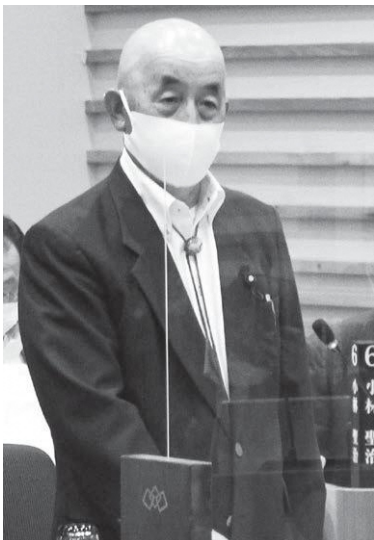
課企画調整長 移住・定住の支援制

問 若者世代に対する移住・定住の施策はあるのか。

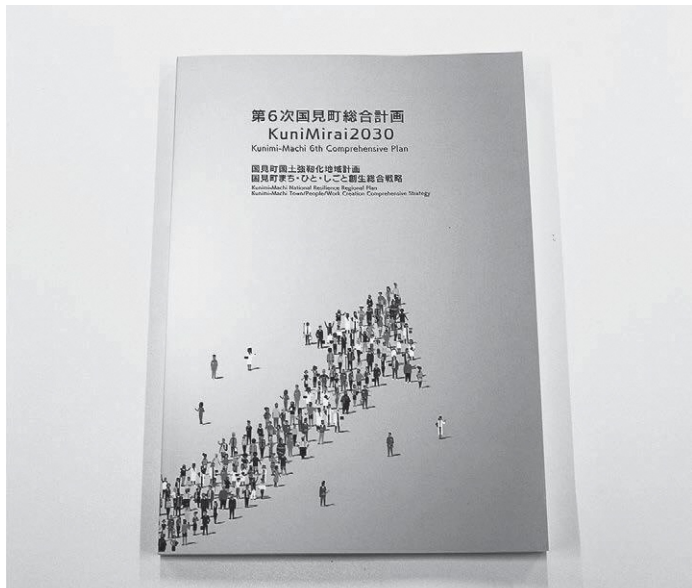
町長 第6次国見町総合計画において、「町として生きるまちづくり」を掲げ、

様々な関係人口の創出に取り組む。また、移住・定住促進委員会を立ち上げ、実効性のある施策を速やかに実施することとした。さらに、子育て、教育、観光、医療など、町全体の魅力を向上させるまちづくりを推進する。

問 町の施策に関わる町職員の自己研鑽と意識改革が必要であるが、町の考え



八巻喜治郎議員



移住・定住の施策も盛り込んだ計画

Q 今後の町のワクチン接種は

A 概ね11月末には接種を終了できる



小林聖治議員

問 今後の町のワクチン接種スケジュールを伺う。

課ほけん 7月末までに、65歳以上の方の接種が終了する見込みであり、ワクチンの確保が大前提だが、概ね11月末には、希望される方への接種を終了できるものと考えている。

問 日曜日の接種を追加したようだが、それを継続するのか。また土曜日接種はどうするのか。

課ほけん 引き続き、休日のワクチン接種ができるよう調整してまいりたい。

問 12歳以上まで、ワクチン接

種の範囲が広がったが、この年齢の子どもたちへの接種については、保護者の意見をよく聞いて実施すべきと思うが。

課ほけん 子どもたち、センシティブな問題が含まれるので、その点を考慮し、教育委員会と相談しながら丁寧に進めてまいりたい。

遊歩道の土地取得は

ていた部分の土地取得の予定は。

企画調整課長 町が取得を目指して、地権者に協力を依頼してきたが、了解を得ることができず今日に至っている。地元の皆様のご協力を得ながら対応していきたい。

問 蓮池に取水するため利用する孝徳水路だが、途中水路の泥上げなど地元町内会の負担が大きい。町として現状を把握すべきでは。

建設課長 古くから、農業用水として重要な役割を持つ孝徳水路についても、町内会からの要望に基づいてハード面での修繕を実施しているところであるが、町の観光資源である歴史公園、蓮池の主要水源であることを踏まえ、これまで以上にその現状については

問 あつかし千年公園駐車場から、防塁、蓮池まで一般道路を徒歩移動となり、危険だと思いが、当初、遊歩道を想定し

ていた部分の土地取得の予定は。

注視してまいりたい。



公園整備が完成し、見頃をむかえている中尊寺蓮

Q 認定こども園は、現行の保育 設置基準と比べてどうかが

A 県の条例で定められており、 緩和されることはない

問 認定こども園
とはどのような
運営形態のことを言う
のか。

**幼児教育
課長** 集団生活
や異年齢の

交流など、適切な育ち
の環境の確保や、「多
様な保育ニーズ」への
対処と就学前の安定的
な保育サービスを提供

することが出来る、幼
稚園と保育所の両方の
良さを併せ持った施設
である。4つのタイプ
があるが幼保連携型で
行う。

問 認定こども園
は現行の保育施
設設置基準と比べて緩
和されることはないか。

認定こども園
は現行の保育施
設設置基準と比べて緩
和されることはないか。

**幼児教育
課長** 設備基準、
職員の配置

数、保育時間及び開園
時間、保育の内容等が
県の条例に定めてある。
設備や職員の配置数は
ほぼ同じであり緩和さ
れることはない。

問 利用するため
に生ずる費用な
ど保護者との契約の内
容に変更はないのか。

利用するため
に生ずる費用な
ど保護者との契約の内
容に変更はないのか。

**幼児教育
課長** 公立の認
定こども園

であり、0歳から2歳
までは国の基準を上回
ることはない。3歳以
上は無償化されてい
る。

問 保育士は正規
職員と会計年度
任用職員の配置となっ
ているが、正規職員だ
けでの対応はできない
のか。

**幼児教育
課長** 認定こど
も園の開演

時間は原則11時間で、
地域の実情に応じて開
園時間を決めることに
なる。子どもの人数に
応じて必要な保育士の
数は決まる。職員の勤
務時間も限られてお
り、会計年度任用職員
での対応は変えようが
ない。

凍霜害への 支援は

問 気象条件に左
右される農業を
継がせることに自信を
持つよう、特に今回
の凍霜害について、支
援制度を確立する必要
があるのではないか。

気象条件に左
右される農業を
継がせることに自信を
持つよう、特に今回
の凍霜害について、支
援制度を確立する必要
があるのではないか。

**産業振興
課長** 農業者の
経営努力で

は避けられない様々な
リスクに備えるため、
収入保険制度が創設さ
れたが、今回の凍霜害
によって必要性が周知
されたと思う。しかし、

青色申告が加入要件に
なっているが、ハード
ルが高いとの声もあ
り、関係機関には加入
要件を緩和してもらえ
るよう要望していき
たい。



現在55名の子どもたちが通う藤田保育所



浅野富男議員

倉庫内の 備品・備蓄品を確認

産業建設

4月28日、住民防災課の所管事務調査を行いました。昨年は防災訓練を実施で

きなかったため、森江野地区、山崎地区の防災倉庫内の備蓄品や備品の現状の確認を行いました。

倉庫内の発電機は、定期的に点検をしています。また、カンパン等の非常食に

ついては、入口にチェ

ックシートをおき納入

日を確認して期限切れ

を配布しないようにしているとの説明を受けました。

熱心に説明を聴く委員



所管課の事務 分掌を聴く

総務文教

令和3年4月1日の人事異動により、当常任委員会所管の課の名称及び課長が大幅に変わったことを受け、所管各課の事務分掌の内容説明と質疑を行いました。

今回の課名変更では、税務住民課を税務課、企画情報課を企画調整課、保健福祉課をほけん課と福祉課に変更となりました。また、人事異動では、教育長をはじめ、総務課長、企画調整課長、ほけん課長、福祉課長が変わりました。

質疑では、新型コロナウイルス感染症対策やワクチン接種、ICT活用や情報教育の推進等、各課の事務内容と現況について質疑がありました。

町の発展に向けて議会が結束

第16回伊達郡町議会議員大会

7月15日、国見町、桑折町、川俣町の伊達郡内3町の議会議員による第16回伊達郡町議会議員大会が伊達市「ふるさと会館MDDホール」で開催されました。

大会では、3町議会から

国、県など関係機関へ提出する要望事項5件と、大会決議・特別決議が採択されました。国見町の要望事項、

大会の決議・特別決議の内容は左記のとおりです。

【国見町】

- ・一般国道4号伊達拡幅4車線化の整備促進と立体横断歩道の設置並びに県道五十沢・国見線の歩道設置について

【桑折町・国見町】

- ・公立藤田総合病院の常勤医師及び全体的に不足している看護師の確保など、地域医療の確保について

【決議・特別決議】

- ・地域住民の代表として、町村自治の振興・発展のため

め、財政基盤の充実強化・デジタル社会構築のための整備等の実現を期す。
・福島第一原子力発電所事故への対応に関し、国は原発事故の早期収拾に向け、問題解決のため特段の措置を講ずるよう強く要請する。



3町議員が一堂に会した議員大会



6月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさんのご意見をいただきました。(抜粋)

- 質問者、回答者共に原稿を読み上げているだけの感あり。 (60代・女性)
- マスクをして、マイクから離れて早口ではよく聞き取れない。 (70代・男性)
- 答弁が早口で分かりづらい。 (70代・男性)
- 各種問題について議員と町側との質疑・応答は、町政を知る上で大切に良かったと思います。 (60代・男性)
- 傍聴席までよく聞こえるよう配慮願います。 (80代・男性)
- 前回より質問者が多いことは良いことだ。 (60代・男性)

議会の動き

6月22日	6月議会定例会(～25日)、議案調査会 議会運営委員会、全員協議会、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
6月23日	広報常任委員会
6月25日	議会運営委員会、全員協議会
6月28日	伊達郡町村議会議長会議(福島市)
6月29日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)
7月1日	例月出納検査
7月2日	広報常任委員会
7月9日	広報常任委員会
7月10日	あつかし千年公園落成式
7月15日	広報常任委員会 第16回伊達郡町議会議員大会(伊達市)
7月20日	新人議員研修会(福島市)
7月21日	議員懇談会
7月26日	伊達地方消防組合議会臨時会(伊達市) 福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)
7月28日	議会行政調査(桑折町、川俣町)

度病院事業会計補正予算や1回定例会では、令和2年3月29日に開催された第

公立藤田病院組合議会

医療機器の整備

※一部事務組合とは複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

一部事務組合報告

医療機器の整備、診療材料費を含む令和3年度当初予算の2議案が原案のとおり可決されました。

令和3年度当初予算

◆収益的収支予定額
収入 60億7957万円
支出 63億392万円

◆資本的収支予定額
収入 3億1000万円
支出 7億1937万円

(資本的収支の不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補います。)

(報告者 松浦常雄)

災害廃棄物処理委託料を可決

伊達地方衛生処理組合議会

4月26日、伊達地方衛生処理組合議会臨時会が開催されました。

議案は2件で、破砕可燃物運搬車両の購入契約の締結について、購入後35年以上が経過したため885万円を更新するものです。

次に、令和3年度ごみ処理事業特別会計補正予算(第1号)で、7068万円を追加するものです。福島県沖地震により発生した災害廃棄物の処理委託料です。

歳入は、組合分賦金の2827万円と、国庫補助金3534万円が主なもので、2議案とも全員賛成で可決されました。

(報告者 八島博正)

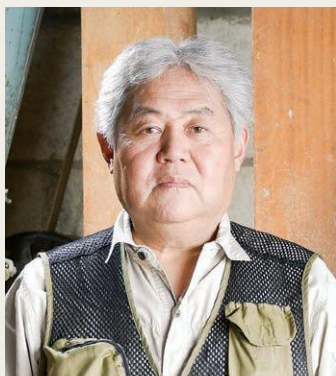
人生、山あり、一寸先は

私は、子どもの頃は山が嫌いでした。なぜかというと、父によく連れていかれ、山の中ではぐれてしまい一人でじっと動かずにいたことがあったり、ワラビ取りに樽と塩を車で持っていき樽がいっぱいになるまで取り、体がぐたくたになつたりしたからです。また、中学生の頃は、足を骨折した父に松葉杖代わりとして山に連れていかれたこともありました。

しかし、私が社会人になった頃には、一人で山に行くようになっていました。そんなある日、山から家に帰ってくると、父に熊に遭わなかったかと聞かれ、遭わなかったと答えたなら、前日に父と仲間三人で山に行き、熊と遭遇し、逃げていた際に一人が骨折し入院したとのことでした。なぜ先に言ってくれなかったのでしょうか。また、高校の古典の先生と卒業後会った際、お互いマツタケ取りに行っていることが分かりました。先生は、山に行ったとき崖から落ちそうになり間一髪助かったということがあったとのこと。その話は二人だけの秘密にしていますが、武勇伝を語るのが好きな先生は、すぐに奥様にばれていました。

そして、私自身もバイクで山に行く途中に転んでけがをしたまま山に入り、帰ってきたら妻から大目玉。

人生は、一寸先が分かりません。



野村 直人さん
(板橋南町内会)

凍霜害を現地調査

4月11日を中心とした遅霜による果樹の被害を調査するため、5月17日、全議員で現地調査を行いました。

調査する中で、被害対策としての防霜ファンの設置が、特に有効であることが分かりました。凍霜害対策として、今議会で、県からの補助金も含めた総額6830万円の補正予算を可決しました。



被害を受けた桃畑で伊達農業普及所職員より説明を受ける

コロナ感染症の影響により、いまだに厳しい状態が続いています。

ワクチン接種も、65歳以上の方々の接種が始まり、順調にいけば7月末に接種終了予定です。今後は個別接種、集団接種を希望される方に対しましては、国からのワクチンが順調に届けば11月末には、接種終了の予定です。

広報常任委員会の改選が行われ、3人の新人議員も加わりました。委員会の主な任務は、議会だよりの発行と年2回実施している議会報告懇談会の開催です。新人議員にとっては初めての議会だよりに、四苦八苦しながらも発行にこぎつけることができました。

新委員全員で創意工夫して読みやすい議会だよりの発行に努めてまいりますので、今後2年間ご支援、ご協力をお願い致します。

(渡辺 勝弘)

発行責任者

議長 東海林一樹

広報常任委員会

委員長 渡辺 勝弘

副委員長 蒲倉 孝

委員 八島 博正

同 小林 聖治

同 山崎 健吉

同 八巻喜治郎